






～ 「水の中の八戸三社大祭」 魚たちのお通り行列展 ～ 展示予定魚種

	魚種	特徴	展示個体数
好適環境 水水槽	コメット 	コイ目コイ科フナ属 体長約10cm ・アメリカで、日本から輸入されたフナやリュウキンなどが自然交配を重ねた結果生まれ、逆輸入という形で日本に入ってきたキンギョです。コメットとは「彗星」の意味で、鰭が長く、細身の体型であり白く長い尾(吹き流し尾)で素早く泳ぐ姿が、まるで水の中の彗星のようであるためにその名がつけました。	10
	朱文金(しゅぶんぎん) 	コイ目コイ科フナ属 体長約10cm ・和金型のスマートな体形と、細長い「吹き流し尾」が美しい金魚。『キャリコ出目金』と『和金』の交配によって生まれました。尾ビレは特に長く、「吹き流し尾」と呼ばれる形状をしています。赤色・白色・黒色(墨色)が入り混じった模様をしています。	10
	アカマツカサ(海水魚) 	・学名: <i>Myripristis berndti</i> キンメダイ目 イットウダイ科 約15cm ・分布: 中・西部太平洋等 ・暖かい海のサンゴ礁などに生息します。ですがサンゴの間を泳ぎ回るような魚ではなく、サンゴや大きな岩が洞窟のようになっている暗い場所に集団を作ります。夜になると暗い海へエサを探しに出かけていきます。タイはその赤い色と「めでたい」に通じることから、祝福の象徴とされています。	3
寅舞	トラザメ 	・学名: <i>Scyliorhinus torazame</i> メジロザメ目 トラザメ科 体長約30cm ・最大でも 50cm ほどの小型のサメです。卵生で、卵には巻きひげがあり、これで海藻などに絡みついて固定されます。トラザメ類は英語で Catshark (キャットシャーク) であり、Tigershark (タイガーシャーク) ではありません。	1

裏面へ続く→

演目	魚種	特徴	展示個体数
駒踊	ウマヅラハギ 	<ul style="list-style-type: none"> ・学名: <i>Thamnaconus modestus</i> フグ目 カワハギ科 約20cm ・体型はカワハギに比べるとやや細長くなり、また後頭部に一本の大きなトゲがあります。顔が長く、馬の顔を連想させることから馬面のカワハギ、略してウマヅラハギという名前になりました。 	5
	コンゴウフグ 	<ul style="list-style-type: none"> ・学名: <i>Lactoria cornuta</i> フグ目 ハコフグ科 大きさ8cm ・幼魚期はサイコロのような形で愛らしい姿をしていますが、成長すると眼の上や尾ひれに長い棘をもつ特的な姿となります。 	1
武者	イセエビ 	<ul style="list-style-type: none"> ・学名: <i>Panulirus japonicus</i> 十脚目 イセエビ科 大きさ:20cm ・分布:房総半島以南の太平洋岸、瀬戸内海、九州沿岸 ・温帯域の浅い海に生息する大型のエビで、日本では高級食材として珍重されます。英語では "Spiny lobster" (棘だらけのロブスター)と呼ばれるそうです。 	1
山車	ハナミノカサゴ 	<ul style="list-style-type: none"> ・学名: <i>Red lionfish</i> フサカサゴ科 ミノカサゴ属 ・分布:インド洋東部から西太平洋 ・扇子のような胸ビレや背中に長い棘を持つ肉食の魚です。夜行性であるため、日中は岩の物陰や隙間に隠れ日没後に岩や珊瑚を泳ぎます。泳ぐ際にひれをゆっくり動かす以外には身動きはせずに海底を漂うように移動します。背びれ・尻びれの先端の棘の部分に毒があります。 	2
	ベタ 	<ul style="list-style-type: none"> ・学名: <i>Betta</i> キノボリウオ目キノボリウオ亜目 大きさ4cm ・分布:タイ(メコン川) ・ベタ属に含まれる 50 種ほどの魚をベタ、ベタ類と総称し、名前の「ベタ」は属の学名 <i>Betta</i> からで、タイの方言に由来します。縄張り意識が強いため、オス同士が近づくとケンカを始めるため闘魚と呼ばれます。オスは泡をつけた巣を作り、メスが生んだ卵を巣で育てます。 	5

約9種 約38匹

※展示魚種および個体数は変更となる場合がございますが、予めご了承ください。